

28年度 予算案

28年度予算案がまとまり、市議会（定例会）で審議されています。ここではその概要を紹介。また、内容をまとめた「28年度当初予算の概要」は、市役所2階の市政情報コーナーのほか、市ホームページで公開しています。詳しくは財政室Tel(740)1130へ。

一般会計と特別会計の 主な事業展開

28年度の一般会計の予算規模は534億7700万円。経常的な事業に加えて、本市の地方創生戦略を先取る事業として、雇用や起業の促進や子育て支援、学校教育の充実などを図る予算としています。

特別会計では、キセラ川西の整地工事や中央公園の整備完了に向けた予算を計上しています（28年度予算の主な事業は67ページに掲載）。

地方創生戦略を先取る事業を新たに推進

歳入では、市税や地方消費税交付金などの一般財源が増加。一方で、地方の財源不足を補てんする地方交付税は減少しています。また、歳出の投資的経費が減少していることから、その財源となる市債の額が減少しています。歳出では、投資的経費に係る経費が減少となった影響で、土木費、消防費および教育費が大きく減額となっています。

一方で、民生費における特別会計への繰入金を含めた医療・介護などに係る経費（約62億円）、障がい者支援（約29億円）、生活保護に係る経費（約37億円）、児童手当の支給（約25億円）、保育所運営などに係る経費（約36億円）、衛生費におけるごみ処理に係る経費（約31億円）、公債費（約56億円）など、経常的に必要となる経費は大きなウェイトを占めています。

□会計別予算案

会計名	28年度当初予算	27年度当初予算
一般会計	534億7,700万円	551億1,100万円
※借換債を除く場合	526億4,646万円	540億 270万円
特別会計		
国民健康保険事業	201億7,504万円	198億6,377万円
後期高齢者医療事業	26億8,408万円	25億3,774万円
農業共済事業	1,085万円	1,179万円
介護保険事業	118億2,157万円	116億9,219万円
用地先行取得事業	19億4,099万円	43億8,503万円
中央北地区土地区画整理事業	28億1,093万円	39億8,303万円
小計	394億4,346万円	424億7,355万円
一般・特別会計の合計	929億2,046万円	975億8,455万円
※一般会計の借換債を除く場合	920億8,992万円	964億7,625万円
企業会計		
水道事業	48億4,054万円	46億3,152万円
下水道事業	61億6,997万円	61億8,059万円
病院事業	71億5,768万円	68億4,120万円
小計	181億6,818万円	176億5,330万円
合計	1,110億8,864万円	1,152億3,785万円
※一般会計の借換債を除く場合	1,102億5,810万円	1,141億2,955万円

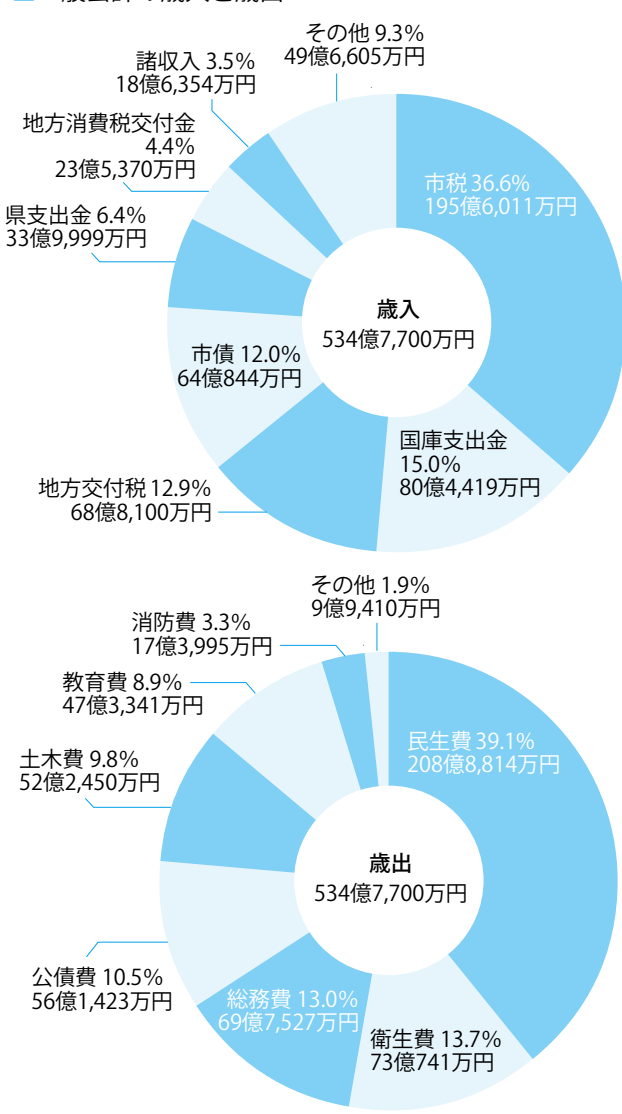
※表中、端数の関係で合計が一致しない場合があります

□市税収入

税目	28年度当初予算	27年度当初予算
市民税	98億1,049万円	97億4,786万円
個人市民税	89億6,398万円	89億5,594万円
法人市民税	8億4,651万円	7億9,191万円
固定資産税	72億4,564万円	72億3,578万円
軽自動車税	1億6,002万円	1億4,285万円
市たばこ税	7億 258万円	6億7,072万円
入湯税	74万円	79万円
都市計画税	16億4,065万円	16億4,094万円
合計	195億6011万円	194億3,894万円

※表中、端数の関係で合計が一致しない場合があります

□一般会計の歳入と歳出



施政方針を 表明

大塩民生市長

第1回市議会（定例会）で、大塩市長が28年度の施政方針を表明しました。ここでは、そのあらましを紹介します。全文は市役所2階の市政情報コーナーと各公民館で閲覧できるほか、市ホームページでも公開しています。なお、同市議会では28年度の一般会計をはじめ、特別会計と公営企業会計の予算案などが審議されます。

かわにし地方創生元年 持続的な発展をめざす

刻々と変化する社会情勢の中で、わが国では、昨年を「地方創生元年」とし、全国の自治体に、地方版総合戦略の策定と具体的な事業の実施を促して、人口減少の歯止めや経済成長力の確保を図ろうとする大きな動きがありました。この地方創生への動きに呼応して、本市でも「あんなばい ええまち かわにし創生総合戦略」を策定しており、新年度はその取り組みを始める重要な年となるため、「かわにし地方創生元年」と位置付けています。人口減少を抑制するため積極的に施策展開をすることで、出生数の一定規模での維持や社会増減の均衡をめざし、2060年の市の総人口11万人の確保を目標としています。

まち・ひと・しごと創生法の趣旨に沿い、「あんなばい ええまち かわにし創生総合戦略」では、転入・定住の促進、人口減少の抑制、まちの活性化のための安定した地域づくり、安定した雇用の創出といった視点で、それぞれに対応する基本目標を立てています。また、本市の総合戦略は、市の歴史的背景や優れた地域力などの特性を踏まえ、持続的な川西を創造する指針と位置付けるものです。同戦略に掲げる目標を達成し、将来にわたって本市が発展していけるようになるには、行政のみが主体となるのではなく、市民の皆さんや事業者、そして各種団体など、まちづくりのさまざまな主体が、手を携えながら進んでいくことが、何よりも大切なことだと強く認識しています。

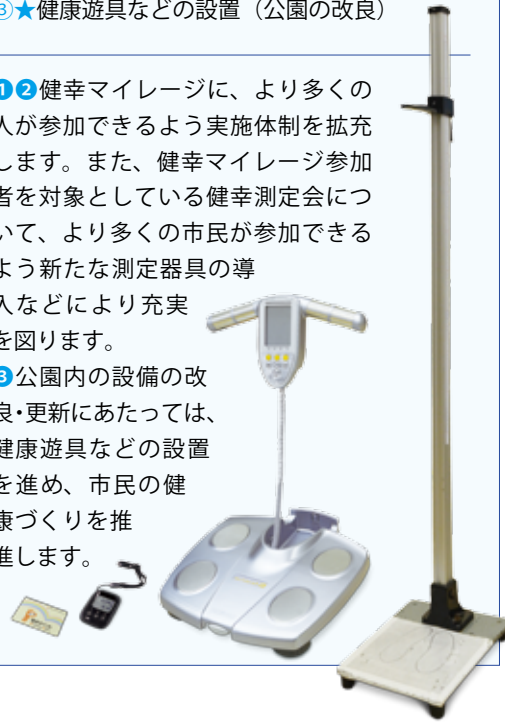
市の未来が明るく照らし出されるよう、市民の皆さんと共に一歩一歩、確かな歩みを進めてまいります。

いきいき健康・長寿プロジェクト

- ①★健幸マイレージの参加人数の拡充
- ②★健幸測定会の充実（健康測定機器の整備）
- ③★健康遊具などの設置（公園の改良）

①②健幸マイレージに、より多くの人が参加できるよう実施体制を拡充します。また、健幸マイレージ参加者を対象としている健幸測定会について、より多くの市民が参加できるよう新たな測定器具の導入などにより充実を図ります。

③公園内の設備の改良・更新にあたっては、健康遊具などの設置を進め、市民の健康づくりを推進します。



川西の魅力発見・発信プロジェクト

- ①★「あんばい ええまち かわにしプロジェクト」の展開
- ②★「このまちで幸せになろうプロジェクト」の実施に向けた検討
- ③★公共Wi-Fi環境整備の可能性検討
- ④★地域づくり一括交付金による地域の先駆的事業の支援
- ⑤★コミュニティ活動拠点の整備に対する補助制度の創設

①都市のイメージアップと定住地としてのまちの魅力をPRするため、「あんばい ええまち かわにしプロジェクト」を積極的に展開していきます。

②若者の出会いから結婚までを総合的に支援する「このまちで幸せになろうプロジェクト」の実施に向け、効果的な支援の手法を検討します。

③魅力の発信や交流人口の増加などを目的に、公共Wi-Fi環境整備の可能性を検討します。

④⑤地域分権によるまちづくりを進めるために、コミュニティ組織の先駆的な事業に対し、地域づくり一括交付金に加算して交付します。また、活動の拠点整備に対する補助制度を創設します。



第5次川西市総合計画

28年度 前期重点プロジェクト

次の5つの項目に重点を置き、施策展開を図ります。重点施策に係る28年度の主な新規拡充事業は次の通りです。詳しくは行政経営室 Tel (740) 1120へ。

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略

人口減少や超高齢社会に着実に対応し、持続可能なまちづくりを実現するため、市独自の課題とその解決策を整理したものを、早期に実施可能な事業は、28年度から予算化しています（該当事業には「★」を記載）。

元気な都市再生プロジェクト

- ①キセラ川西都市基盤整備
- ②キセラ川西内の低炭素型複合施設の整備
- ③新名神高速道路周辺整備（道路、安全灯など）
- ④★かわにし魅力創造・発信拠点整備
- ⑤★在宅就業の環境整備・女性の起業支援
- ⑥★旧加茂小学校・旧川西高校跡地活用検討

①②キセラ川西では、整地工事や、「せせらぎ遊歩道」と都市計画道路豊川橋山手線などの都市基盤を整備し、地区内での複合施設（文化会館、公民館、福祉施設など）の建設を進めます。

③④新名神高速道路周辺では、28年度末の高速道路の開通に合わせて矢間畦野線の整備や安全灯などの整備など周辺道路の環境整備・安全対策を実施するとともに、新たな市の玄関口となる（仮称）川西インターチェンジ周辺での本市の魅力の創造・発信の拠点となる施設の整備に向けて、民間活力導入可能性調査を実施します。

⑤子育て中の女性など在宅就業希望者に対して、在宅就業の機会を促進し、起業を考えている女性に対して、起業から起業後のフォローまでを含んだ包括的な支援を行います。

⑥旧加茂小学校と旧川西高校跡地の有効活用を検討します。



□行財政改革の取り組み項目と効果見込み額 (万円)

取り組み項目	効果見込み額
■革新し続ける行政経営の推進	12,638
ICT技術の活用	7,774
ICT技術の活用による機器の集約化	7,774
環境への配慮	4,864
安全灯のLED化(新規)	5,180
公園灯のLED化(新規)	△297
エコアクション21など認証・登録支援の実施	△19
■持続可能な財政基盤の確立	6,180
効率的で効果的な行政サービスの提供	3,961
各種検診受付業務のOAシステム導入による効率化(新規)	684
教育用ICT機器の継続使用(新規)	345
電力自由化に伴う入札の実施(新規)	1,383
給与体系の段階的な整理など	1,549
歳入の確保	1,354
税のクレジット収納の実施(新規)	659
自動証明写真機の設置など	695
外郭団体などの適正化	490
外郭団体への派遣職員の見直し	490
公有財産などの長寿命化と有効活用	376
栄保育所跡地の(一部)貸付	376
■機動的な組織体制の構築と人材の育成	894
定員管理などの適正化と機動的な組織編成	894
室内グループ制の試行導入(新規)	-
直営地域包括支援センターのあり方の見直し	894
合計	1億9,712
28年度新規取り組み分の合計	7,954

※表中、端数の関係で合計が一致しない場合があります

行財政改革の取り組み

行財政改革前期実行計画（計画期間は25～29年度）の状況を、28年度当初予算の段階で取りまとめました。詳しくは行政経営室 Tel (740) 1120へ。

Administrative and Financial Reform

計画の期間中に取り組む予定の項目のうち、28年度に新たに着手する項目と25年度から取り組んでいる項目について、効果見込み額を計上しています。行財政改革の実行に伴う必要経費については、その経費を調整し、計上しています。

豊かな水と緑共生プロジェクト

- ①★キセラ川西内中央公園の整備
- ②★公園灯のLED化

①市民ワークショップなどを通じて策定した整備構想に基づき、キセラ川西内で公園を整備します。

②環境への配慮から、CO2排出量の低減を図るために、公園灯のLED化を進めます。



こころ豊かな子ども育成プロジェクト

- ①★(仮称)きんたくんエンゼル給付金制度の創設
- ②★多子世帯、ひとり親世帯の幼稚園・保育所の保育料軽減
- ③★小学校外国語活動での地域人材活用の拡充
- ④★小・中学校、幼稚園、特別支援学校の空調設備の整備
- ⑤★中学校給食のモデル校での実施に向けた準備

①出産への支援として、新生児名義の金融機関口座を開設する場合に、給付金を支給する「(仮称)きんたくんエンゼル給付金制度」を創設します。

②幼児期の支援として、年収が一定額未満の多子世帯・ひとり親世帯に対して、幼稚園・保育所の保育料を軽減します。

③小学校では、市立小学校の外国語活動で、英語に長けた地域人材による授業の時間を拡充します。

④小・中学校や幼稚園、特別支援学校での空調設備の整備について、準備を進めていきます。

⑤中学校給食について、モデル校での実施に向けて給食施設の基本設計を進めます。



基本計画施策体系 5つの視点から見る

政策別 主要事業

「暮らし」 住む・にぎわう

継続 キセラ川西内で、物件移転補償を進め、整地工事と都市基盤を整備 21億7,639万円

継続・戦略 市民ワークショップなどを通じて策定した整備構想に基づき、キセラ川西の公園を整備 3億269万円

新規・戦略 バス利用者の利便改善のため、バス事業者のバスロケーションシステム導入に助成 349万円

継続・戦略 「親元近居助成制度」の継続と、空家の適切管理などを示した対策基本方針を策定 2,830万円

継続 花屋敷団地・絹延団地の老朽化に対応するため、建て替えに伴う基本設計・実施設計などを実施 1億564万円

継続 市内全204橋の調査と最明寺川大橋、清和台陸橋の修繕工事を実施 1億3,700万円

継続 新名神高速工事用道路を市道化。橋りょうの工事経費を負担し、歩道整備を実施 1億4,275万円

継続 新名神高速道路と県道川西インター線整備に合わせ、都市計画道路矢間畦野線を整備 2億2,657万円

新規 新名神高速道路の関連道路に安全灯・標識を設置 1,800万円

継続 市道44号の改良と市道44号と43号の交差点の改良に伴い用地購入、改良工事を実施 9,518万円

継続 中央町・栄町地内の市道3号で、右折レーンの設置や歩道の拡幅など改良工事を実施 4,000万円

継続 山原地内の退避所設置改良工事を実施 900万円

継続 見野2丁目地内の道路拡幅のため、詳細設計を実施 740万円

継続 黒川地内の道路拡幅のため、橋りょう改修などの改良工事を実施 5,750万円

「安全安心」 安らぐ・備える・守る

継続・戦略 健幸マイレージの参加人数を拡充 4,720万円

継続・戦略 健幸測定会を充実 60万円

新規 CTコロノグラフィーによる検査を導入し、大腸がん検診の充実を図り、がん検診で「要精密検査」となった、精密検査未受診の人への受診を勧奨 208万円

継続・戦略 障がい者の相談支援事業所を増設 1,582万円

新規・戦略 子どもの安全確保を図るため、地域防犯活動の状況などを踏まえ、関係機関と連携しながら、防犯カメラ設置を検討 13万円

継続 低所得者の生活を支援するため、臨時福祉給付金を支

第5次総合計画前期基本計画の施策体系の「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」「行政経営改革大綱」に沿って、28年度の主要事業を紹介します。(あんばんいえまちかわにし創生総合戦略に該当する事業には「戦略」と記載) 詳しくは財政室Tel(740)1130へ。

継続 都市計画道路豊川橋山手線のキセラ川西区域外の区間(美園町・絹延町地内)で、物件調査と改良工事、能勢電鉄踏切改良の設計に必要な経費を負担 1億270万円

新規・戦略 市南部空港周辺地域の公園で、遊具の更新などを実施し、公園灯のLED化などを年次的に実施 5,099万円

新規・戦略 CO2排出量の低減と電気料金の節減を図るために、市が管理している公園灯のLED化を実施 6,500万円

継続・戦略 安全安心に公園を利用できるよう、老朽化の進む遊具などを撤去・更新 5,000万円

継続・戦略 黒川ダリヤ園リニューアルの事業予定地を測量 570万円

新規・戦略 耐震基準を満たさない住宅の建て替えに対する補助を創設し、耐震改修促進補助制度を拡充 1,520万円

新規・戦略 兵庫県のブランド発信制度「五つ星ひょうご」に選定された事業者に対する補助制度を創設 50万円

新規・戦略 女性の起業に際し、起業前から起業後のフォローまでを支援 100万円

新規・戦略 仕事を受注したい個人と仕事を依頼したい事業者を、インターネットを活用して結びつけることで、在宅での就業の機会を促進 150万円

新規・戦略 コーディネーターの支援により、若者の就労サポートを実施 500万円

新規・戦略 川西のいちじくのお土産「朝採りの恵み」を商標登録し、市特産物のブランド力を向上 52万円

継続 猪名川下流加茂井堰の放流警報設備を更新 3,885万円

新規 農業用施設などの災害復旧に係る市独自の補助制度を創設(予算は必要時に予備費などで対応)

給 1億9,237万円

継続 路上喫煙およびたばこのポイ捨て防止に係る啓発活動を積極的に展開 65万円

新規 ごみステーションの美化のため、カラス除けネットやペットボトル用スタンドネットを、希望者に無償配布 180万円

継続 新名神高速道路開通に向けて、救急隊の増隊のために、清和台出張所を改修 3,240万円

継続 救急隊増隊のため新たに救急車を購入し、清和台出張所に配備 4,584万円

「生きがい」 育つ・学ぶ

新規・戦略 不育症の人を対象として、検査や治療に係る医療費の一部を助成 150万円

新規・戦略 小児慢性特定疾患児童に係る医療費の本人負担分の一部を助成 120万円

新規・戦略 新生児名義の金融機関口座を開設する場合に給付金を支給する制度を創設 716万円

継続 28年8月分から、児童扶養手当の第2子以降の加算額を所得に応じて増額支給 1,108万円

新規・戦略 牧の幼稚園と緑保育所の一体化施設の整備に向け、牧の幼稚園の仮園舎への移転準備と認定こども園の工事を実施 1億496万円

継続・戦略 地域型保育施設を整備・運営する事業者に、施設整備の経費を補助 1,650万円

継続・戦略 緑台中学校区に民間幼保連携型認定こども園を整備・運営する事業者に、施設整備の経費を補助 2億1,687万円

継続・戦略 年収が一定額未満の多子世帯・ひとり親世帯の幼稚園・保育所の保育料を軽減(年間軽減額は計230万円)。また、保育所に不審者などへの対策として防犯カメラを設置 424万円

「つながり」 尊ぶ・関わる

新規・戦略 男性・女性の生き方や働き方などを学ぶ機会を提供する(仮称)男女共同参画カレッジを開講 100万円

継続 自治会活動の活性化を支援するため、自治会館の整備

新規・戦略 市立小学校で外国語指導助手に加え、新たに地域人材を活用することで、一層質の高い授業を展開 158万円

新規・戦略 スクールソーシャルワーカーを配置 128万円

新規・戦略 小・中学校や幼稚園などにおける空調整備に向けてPFIなど事業手法を十分に検討した上で実施 3,089万円

新規・戦略 中学校給食のモデル校での実施に向けて給食施設の基本設計を実施 240万円

継続・戦略 小・中学校の学校図書館の整備を充実 1,579万円

新規 小・中学校の社会科副読本について、より充実した内容への改訂に向けて準備を推進 65万円

新規 黒川地域における里山体験活動サポーターを養成 6万円

継続 加茂遺跡の保存のため、史跡指定地内の市土地開発公社用地や民有地を取得 5億4,532万円

継続・戦略 郷土館の隣接地を取得するとともに、郷土館全体の有効活用を検討 364万円

継続 黒川公民館建設のための実施設計を実施 930万円

事業補助制度を拡充 730万円

継続 地域の不動産事業者などと連携し、自治会への加入を促進 13万円

「行政経営改革大綱」 挑む

新規・戦略 かわにし魅力創造・発信拠点整備のために民間活力導入可能性調査を実施 500万円

新規・戦略 若者の出会いから結婚までを総合的に支援するため「このまちで幸せになろうプロジェクト」の実施に向けた検討委員会を立ち上げ、民間事業者などと共に効果的な支援の手法を検討 56万円

新規・戦略 コミュニティ活動の活性化を図るため、拠点整備に対する補助制度を創設 200万円

継続・戦略 旧加茂小学校および旧川西高校跡地の有効活用を検討 500万円

継続 PFI手法による低炭素型複合施設の建設を実施 10億6,335万円

新規 利便性向上とマイナンバーカードの普及促進のため、コンビニエンスストアで各種証明書を交付 1,577万円

継続 旧北部処理センターを活用した清掃事務所とごみ収集車の車庫の整備に向けて、実施設計を実施 3,060万円

継続 PFI手法による市民体育館の建て替えと市民運動場の整

備を完了。新体育館の使用開始後、旧体育館の解体と駐車場の整備を実施 10億2,621万円

継続・戦略 地域分権による地域づくりを進めるコミュニティ組織の活性化に向け、一括交付金を交付。先駆的な事業については加算を実施 5,246万円

継続・戦略 都市のイメージアップと定住地としての魅力をPRするために、引き続き、「あんばんいえまちかわにし」プロジェクトを展開 2,009万円

継続 市民憲章について、「(仮称)市民の幸せ憲章」として見直しを実施 51万円

新規・戦略 魅力の発信や交流人口の増加などを目的とした公共Wi-Fi環境整備の可能性について検討 300万円

新規 市税のクレジット収納の実施など納税環境を整備。また、口座振替推進キャンペーンを展開し、納期内納付を向上 45万円

新規 公職選挙法の改正に伴い、18歳から20歳までの新有権者を対象に投票への周知啓発を実施 35万円